

12月の特集コーナー
 『ステイマ』
 『アメリカクリスマス』



12月といえばやっぱりクリスマスですね。図書館ではたくさんの方のクリスマス本を準備しています。たくさん本を借りて、楽しいクリスマスを過ごしてくださいね。
 また、大人向けには年末年始に関する本も揃えています。

★一般書コーナー

★クリスマスの本
 『赤毛のアンクリスマスブック』
 C.S.コリンズ／編 東洋書林

『イエンセン家のクリスマス』
 イエンセン・イエンセン／著 文藝春秋

★年末年始に向けて
 『美しいおせちとおもてなし正月料理』
 主婦の友社／編 主婦の友

『気づけばピカピカ！1日1分そうじ』
 沖 幸子／著 二見書房

『彫って楽しむ年賀状』
 小原 俊樹／著 木耳社

★児童書コーナー
 『クリスマス本の本』
 ☆クリスマスの本
 『ありがとうサンタさん』
 内田 麟太郎／文 女子パウロ会

『馬小屋のクリスマス』
 アストリッド・リンダグリーン／文
 ラトルズ

『きせつの手づくり図鑑 冬』
 峯村 良子／作・絵 偕成社

『きせつの手づくり図鑑 冬』
 峯村 良子／作・絵 偕成社

『きせつの手づくり図鑑 冬』
 峯村 良子／作・絵 偕成社

『きせつの手づくり図鑑 冬』
 峯村 良子／作・絵 偕成社

新刊案内

★一般書★ 『自分を抱きしめてあげたい日に』
 落合 恵子 / 著 集英社
 7年間の自宅介護の末、母を看取った著者が、自らの喪失感を埋めてくれたさまざまな絵本や詩集、小説、そして勇気ある人々の姿や行動を紹介しながら、この非情な時代と社会を超える「希望」への道筋を照らし出します。

★児童書★ 『だいじょうぶだよ、おばあちゃん』
 福島 利行 / 文 塚本 やすし / 絵 講談社
 田舎のおばあちゃんが、転んでけがをして、歩けなくなってしまいました。おじいちゃんがずっと付き添って「介護」をしているそうだけど、「介護」ってなんだろう？お年寄りとの関わり方を描いた絵本です。

お知らせ

●図書館利用カードの更新について●
 図書館の利用カードには有効期限があります。町内の方は3年、町外の方は1年です。有効期限が近づいた方には、カウンターでお伝えしますので、住所、氏名が確認できるものをご提示ください。利用カードは、そのまま使用できます。

●団体登録募集中です●
 図書館では、町内の保育園、幼稚園、ボランティア団体、事業所などを対象に団体登録を受け付けています。登録された団体は、図書のほかに大型絵本や大型紙芝居、布の絵本なども借りることができます。最長2ヶ月、最大100冊までの貸し出しです。詳しくは、図書館カウンターまたは電話でお尋ねください。

●毎月23日は「宇美町読書の日」●
 毎月23日は、お家で読書を楽しみましょう！ブックリスト「子どもの本だな」(幼児・児童用)と「ふみの本棚」(中学生・大人用)の秋号をご活用ください。※図書館で配布しています。また、ホームページで見することもできます。

●クリスマスおはなし会●
 ★日時 12月22日(土) 10時半～11時半
 ★会場 うみ・みらい館多目的ホール
 子どもたちに図書館や本にもっと親しんでもらうため、クリスマスおはなし会を開催します。大型絵本の読み聞かせやエプロンシアターなどいろいろなおはなしがいっぱいです。一足早いクリスマスを家族やお友だちと楽しみましょう！
 参加した子どもたちには、プレゼントがあります。



昨年のクリスマスおはなし会の様子

●ブックリサイクル●
 ★日時 11月18日(日) 10時半～16時
 「ふみの里まなびの森フェスタ」にて
 保存期限が過ぎた雑誌や寄贈本で受入れできなかったものと英字新聞を配布します。本や雑誌は、一人10冊まで。(図書館利用カードを見せていただきますので、ご持参ください)
 ★雑誌の付録プレゼントもあります。
 当日、図書館で本やCD・DVDなどを借りた方に「雑誌ふろく引換券」をお渡しします。引換券1枚につき、雑誌付録1つをプレゼントします。
 ※ブックリサイクル及び雑誌の付録プレゼントは、なくなり次第終了します。

●「図書館読書まつり」を開催しました●
 9月22日(土)～9月30日(日)まで、図書館読書まつりを開催しました。「ねずみの嫁入り」の人形劇やおはなし会、ブックリサイクルや布の絵本の展示、しおりや豆本を作ったりとたくさんの方のイベントを開催しました。期間中たくさんの方に参加していただき、ありがとうございました。



おはなし会の様子

布の絵本も大人気でした

このコーナーでは、ボランティアなどの公益的な町民活動をしている人や団体を応援し、その「はじめの一歩」のきっかけになるような記事を掲載しています。

新 ざっくばらん 第54号

宇美町では地域のいきいきサロンがおよそ20カ所で開催されています

いきいきサロンの活動は社会福祉協議会や各行政区の支援を得ていますが、そこで活動のお世話をしているのは地域のボランティアの皆さんです。



サロンの立ち上げをサポートしている宇美町社会福祉協議会の山崎さんにお話を聞きました。

Q、いきいきサロンの良さを教えてください。
 「一番の良さは楽しいところです。それだけでなく地域のつながりと安心感もあります。いきいきサロンに来て人と話すことで元気になり、健康に暮らす源になります」

Q、いきいきサロンで活動しているボランティアさんにひと言お願いします。
 「離れて暮らす自分の親のことを考えてみても、地域の皆さんに見守られている安心感には感謝しています。ボランティアの皆さんのサポートがとてもありがたいと思っています。」

Q、これからのいきいきサロンについての展望を教えてください。
 「いきいきサロンを増やしていくとともに、サロンのボランティアさんをサポートする方を育成することにも力を入れていきたいです。サロンに参加することで生き生きと暮らすことができ、認知症予防や介護予防にもつながっていると思います。宇美町で暮らすのは安心！と思ってもらえるようにしたいと考えています」

※今年も1～3月にサロンをサポートするためのレクリエーションの講座を行う予定です。詳しくは、社協だより(11月発行)をご覧ください。

今年の5月に開所した四王寺坂いきいきサロンのボランティアさんの声



家の料理は手を抜いているのに、ここのお料理は全部手作りで、自分の勉強になっています。
 親の介護の経験がありますが、その時は「寄り添って笑う」ということがなかなか出来なかったと、今活動をしながら思います。
 男性の参加がもっと増えたらうれしいです。何をしているのかわからなくて二の足を踏む方が多い気がします。とにかくいきいきサロンをのぞいてほしい！
 お年寄りが喜んでくれるのが何よりです。おしゃれて来てくれます。それは大切なことですね。
 私は誘われても断っていたけれど、一度来たら楽しいので続けて来ています。

編集後記：お住まいの地域でいきいきサロンに参加するのも、サポートするボランティアとして参加するのも、大歓迎だそうです。参加希望の方は宇美町社会福祉協議会【TEL931-1008】にお尋ねください。また、宇美町社会福祉協議会のホームページには町内のいきいきサロンの紹介がありますので、そちらもご覧ください。【http://www.umi-shakyo.or.jp/】(K. E)

●ボランティア・町民活動支援センター「ふみらぼ」(うみハピネス内) TEL & FAX 933-1110 レイアウト・絵 ayako.m